

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぱれっと		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日 ～ 2026年 12月 26日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日 ～ 2025年 12月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間連携の取りやすさ	職員数が少ないため日々の話し合いはもちろん、週案や日案等を組む際に多く時間を割くことができる。	職員が増えてきた場合も、利用児に関する話題は多く時間をかけるよう意識しておく。
2	日々の支援の充実、利用児からの満足度	様々な活動を準備、用意し日々過ごしている。活動1つ1つにメリハリをつけわかりやすい支援を心がけている。	職員の趣味、ネット情報、地域の遊び等を調べ各利用児にあった遊びや活動を日々探していく。
3	けが等安全確保	室内での活動を通し、各利用者の現在の能力を職員体制をしっかりと行ってもらい、その結果を話し合い!野外活動時などで注意する点を決めている。オーソドックスな危機管理+個人に合わせた危機管理を徹底している。	アクティビティ道具を作成し経験を大切に支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の発信	インターネットの活用が苦手である。	得意な職員と連携し、情報を発信する機会を取っていく。
2	保護者への活動報告	通信を季毎に作成したり、毎日の活動報告を行っているが、実際に目にする機会が少ない。	活動発表会や学習発表会を企画し、保護者周知の機会を増やしていく。
3	職員同士の連携	強みでもあるが、現状に満足しないよう注意が必要。	利用児の話をする際は他作業時でも手を止め話に向き合うという基本を忘れないようにする。相談内容によってその場で話す、時間を取り直す等判断し孤立しないよう注意していく。